



# ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会

〒251-0026 藤沢市鵠沼東8-2

秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>



高橋選手を囲んで来賓及び関係者の皆様

## 2020 江の島セーリング競技の 成功を目指して (聖火ランナーの集い)

10月9日(月・祝)藤沢商工会館ミナパーク6階多目的ホールで第一部を  
藤沢市主催、第二部を藤沢市体育協  
会主催で「2020江の島セーリング競技  
の成功を目指して(聖火ランナーの集  
い)」が聖火ランナー18名を含む関係  
者123名が参加して開催されました。  
会場には当時の競技会場写真や聖  
火ランナーの資料などが展示される

中、午後4時から第一部が開催され  
ました。

鈴木恒夫藤沢市長の開会の挨拶、  
来賓者からは未来につなぐ東京オリ  
ンピック・パラリンピック藤沢市支  
援委員会副委員長・藤沢商工会議所  
会頭増田隆之様と、神奈川県スポー  
ツ局オリリンピック・パラリンピック課  
長の焼石隆様から官民一体となつ  
て、2020江の島セーリング競技の成功  
を目指し盛り上げていく旨をご挨拶  
にて頂き、会場も熱気に包まれまし  
た。

続いてはロンドンオリンピック・  
リオデジャネイロオリンピック・セー  
リング競技49er級に出場された高  
橋賢次選手(トヨタ自動車東日本株式  
会社所属)より「オリンピックから学  
ぼう!セーリングのルールや魅力につ  
いて」と題した講演を頂きました。

1982年生まれの神奈川県茅ヶ崎市出身、  
江の島ジュニアヨットクラブ出身の  
セーリング日本代表選手で幼少期か  
ら江の島でセーリング経験を積んだ  
選手です。接する機会の少ないセー  
リング競技のレクチャーを藤沢市ゆ

かりの高橋賢次選手より頂き、参加  
者は身近に興味深く話を聞くことが  
でき、競技理解が深まる講演となり  
ました。なかでもレースは海上での  
風の流れの読み合いが重要でスター  
ト前の船の位置取りが勝敗に影響す  
ることもある自然が相手の競技であ  
るとのお話しが印象的でした。

第二部では各競技団体からの2020  
に向けて、藤沢市ゆかりの有望選手の  
紹介がありました。期待される4名  
の選手を各加盟団体から紹介され、  
応援ムードの高揚で盛り上がりを見  
せました。続いては聖火ランナーの  
方々に登壇頂き、自己紹介と当時の  
思い出やエピソードをお話し頂き、  
懐かしいできごとの中に皆様のラン  
ナーとしての誇りを感じるスピーチ  
を頂きました。

第一部・第二部を通してオリンピッ  
ク気運の高まりを終始感じる内容と  
なりました。開催前100日が迫る中、  
藤沢市スポーツ関係者が一体となつ  
て「2020江の島セーリ  
ング競技の成功を目  
指す」ことの意義を  
確認するイベントと  
なりました。(山口)



セーリング・オリンピック  
高橋賢次選手



# 藤沢の10代のサッカーマンが 全国で躍動



## 日大藤沢 インター杯準優勝 「準備の大切さ」

日本大学藤沢高校サッカー一部監督 佐藤輝勝



平成29年度全国総合体育大会サッカー大会では、たくさんの方々に支えられ、創部初の準優勝をすることができました。決勝戦の仙台ユアテックスタジアムには鈴木市長をはじめ数多くの県民（市民）の方々がわざわざ足を運んで声援を送って頂き、大変感謝しております。

今回の総体では、準備の大切さを実感することができました。大会前に「日本一になるために、日本一の準備をしよう」と選手達と話し、準備に準備を重ねてきました。その一つが宿泊の日数です。

同じ場所に長く宿泊すると勝利願望が希薄になるというデータを基に決勝戦から逆算して全チームで一番遅い、開会式当日に現地入りしました。さらに部屋の人数は5人部屋から勝つごとに4人、3人、2人と変えてモチベーションアップになるように準備しました。ホテルのご配慮もあり実現できたことに感謝しております。

試合への準備としては、疲労回復と怪我の予防を準備しました。連戦の戦いは疲労との戦いでもあるので、筋肉を緩めない疲労回復方法と、怪

我がの予防となる皮膚細胞学を学び、初めて実践しました。

疲労回復の為、あえて温泉には入らず、筋肉を緩めないという従来と真逆の方法を行い、期間中はシャワーのみ。怪我の予防の為、皮膚の流れに沿ったマッサージを徹底し、大会期間中一人も欠けることなく戦うことができたことが準優勝につながったと実感しています。

最後の準備は選手達自身です。日本一の山に登る覚悟という準備を本気でしました。関東大会敗戦以降、部員全員が本音で話し合い、監督にも厳しい提案をしてきたのは初めてでした。全国メンバーに選ばれた17名は「出られない選手のために」サポートメンバー、応援メンバーは「代表選手のために」と全員が必死でした。誰一人手を抜かないという準備（覚悟）ができたからこそ、ファイナル

リストになれたと思っております。この総体で学んだ「準備の大切さ」を忘れず、一度下山し、再び日本一の山にチーム一丸となって挑戦する覚悟です。



準優勝に輝く日大藤沢高サッカー一部

## 鵜沼中学 連続 全国大会 「全国大会を終えて」

藤沢市立鵜沼中学校サッカー一部監督 中村京平



私たち鵜沼中学校サッカー部は、熊本で行われた第48回全国中学校サッカー大会でベスト16という成績をおさめました。

全国に行くまでの過程で県大会優勝、関東大会準優勝という成績で全国大会へ臨みました。

どのゲームも厳しい戦いの連続でしたが、大会を通してチーム

は成長していった様に感じています。

今振り返ると県大会、関東大会共にキーになるゲームが2つありました。

1つは、県大会の初戦の桐蔭学園とのゲームです。全国大会の常連校相手にPK戦で勝負をものにすることができました。厳しく、タフなゲームでしたが、その中で選手は大きく成長しました。

もう1つのゲームは全国大会を決めた、関東大会2回戦東海大菅生とのゲームです。相手にボールを握られる時間が長く、尚かつ先に失点をし



鵜沼中サッカー一部の皆さん





# サーフィン 6年振りの 全国優勝



今年52回目となるアマチュアサーファー・ナンバーワンを決定する「全日本サーフィン選手権大会」が静岡県磐田市豊浜海岸で行われました。

全国70支部の予選大会を勝ち抜いた精鋭選手約1000人が6日間にわたり、全16クラスに分かれて、日本のチャンピオンを目指し熱い戦いを繰り広げました。

今回は、湘南藤沢支部が団体優勝を成し遂げました。メン・クラスで優勝した小川葉良をはじめ、キッズクラス4位の佐藤利希、ボーイズクラス3位の大場玲遥、4位の矢作紋乃丞、カフナクラス3位の中野宏昭、ロングボード・メンクラス3位の権守賢治、BBメン・クラス3位の小松貴史、支部長クラスでも2位となった田村隆之らの活躍が団体優勝へと導きました。

この勝利は、2011年に宮崎県日向市お倉ヶ浜で行われた第46回大会以来の6年ぶりの優勝となりました。(子田)

い戦いが  
つかる熱  
豪国がぶ  
世界の強  
はじめ、  
本代表を  
せた、日  
おどろか  
世界中を  
ド大会で  
ングラン  
本にやっ  
と観戦、  
界からラ  
が決勝ト  
優勝を決  
そして、  
本からラ  
と観戦、  
本にやっ  
ングラン  
ド大会で  
世界中を  
おどろか  
せた、日  
本代表を  
はじめ、  
世界の強  
豪国がぶ  
つかる熱  
い戦いが



高校生を対象としたラグビークリニックの様様

が決勝トーナメントで争い、優勝を決める方式です。

ラグビーワールドカップは、世界約100カ国から勝ち上がった20チームが参加して、約1カ月半にわたって行なわれる巨大イベントです。

2020東京オリンピックや2018サッカーワールドカップに次ぐ、とても大きな世界3大スポーツの祭典として知られています。アジアで初めて日本で開催されるラグビーワールドカップは2019年9月20日、東京スタジアムの開幕試合から11月2日の横浜国際総合競技場で行なわれる決勝まで、北海道から九州までの日本全国12会場で4ブロックの各リーグ戦が行われ、各ブロック1位・2位による8チームが決勝トーナメントで争い、優勝を決める方式です。

ラグビーワールドカップが日本にやってくる

藤沢市ラグビー協会

楽しみます。このような状況から藤沢市ラグビー協会ではラグビーワールドカップ日本開催に向けて藤沢市と地域と共にラグビーの普及・強化を図り、ラグビーワールドカップを盛り上げる事業等の企画をしています。青少年を対象としたラグビークリニック(強化と普及、指導者講習会)の開催と全国テレビ放映している関東大学ラグビーの公式戦を秋葉台球技場で無料試合として開催し、藤沢市民にラグビーの普及と交流を進めています。ラグビーに関する情報等は藤沢市ラグビー協会まで問合せください。(武井)

## お米を食べて動ける体づくりを!



管理栄養士 吉川恵美

皆さんは毎日お米を食べていますか?  
お米は日本人には欠かせない食べ物ですが、最近は体重コントロールのために主食を抜く人が増え、お米を食べる機会も減っているようです。スポーツ時にも、最も大切なエネルギー源となる豊富なお米を適度に取り入れて、スタミナ&集中力を維持していきたいですね。

ポイントの1つは、おかずを含めて消費に見合った量を食べることですが、お米を食べる時にビタミンB1などのビタミンや食物繊維と一緒に補うことも、食べたエネルギーを体に溜め込まないために大切です。習慣化しやすいやり方として、黒米、もち麦、はと麦などを混ぜ、雑穀米にして食べる方法もあります。雑穀はちよつと…という方は、消費を助けるビタミン豊富な納豆や海苔を常備して、おかずの1品として食べる習慣を付けると良いですね。しっかり食べてしっかり消費する体を作り、元気に健康に動ける体づくりをしていきましょう!

# 夏の親子 アーチェリー体験教室

子どもの日の恒例行事となりました、みらい子どもフェスタでは、秩父宮記念体育館と秋葉台文化体育館の弓道場にてアーチェリー体験を実施していますが、アーチェリー会場は人気のあるブースの1つで、毎年長蛇の列ができ、数本しか射る事ができず、もっと射ちたいという要望を受け、9年前から夏休み中に親子を対象とした体験教室を開催するようになりました。

対象は小学4～6年生と保護者とし、母子のペアが多い中、お盆休み中の開催という事もあり、父子で参加する方もいます。教室では基本的な射ち方やルールを学び、計18射



親子ペアの参加者

で競うミニ射会を行います。最後には風船割りゲームもあり、口々に「楽しかった」と好評を得ています。藤沢市では2つ弓道場と太陽の家体育館、藤沢市アーチェリー協会が管理する御所見の森アーチェリー練習場の4ヶ所が使用でき、国内でも最も恵まれた環境と言っても過言ではありません。中学生からは大人向けの初級教室(全6回)にも参加する事ができ、近年ではジュニアのアーチャーが増えつつあります。高校や大学に進学するとアーチェリー部があるので、藤沢で素地を作り、国内や国際的にも活躍できる人材を育てたいと協会の指導部は教室事業に力を入れています。

初級教室は毎年、春と夏の年2回、親子体験教室は8月に2回実施します。また、今年度からは9月開催のふじさわパラスポーツフェスタや11月開催のスポーツまつりふじさわ2017でもアーチェリー体験会を行い、弓に触れる機会を増やしています。(武井)

詳しくは [藤沢市アーチェリー協会ホームページ](http://fujisawaarchery.sakura.ne.jp/wp/)  
<http://fujisawaarchery.sakura.ne.jp/wp/>

# スポーツまつりふじさわ2017

(グラウンドゴルフ競技の部)



開会式で挨拶する鈴木市長  
278名、開会式では

11月12日(日)「スポーツまつりふじさわ2017」が3会場で開催されました。スポーツまつりふじさわのコンセプトは市民が生涯にわたって多様なスポーツに親しみ健康で明るく豊かなスポーツライフの実現、健康増進、スポーツを楽しむ環境づくりを目指すものです。当日、秋葉台球場ではグラウンドゴルフ競技が行われました。

主催者である鈴木市長及び岩崎実行委員長の挨拶、来賓を代表して藤沢市議会松下賢一郎議長からご祝辞をいただきました。そして、湘南藤沢グランドゴルフ同好会の河野さんの力強い選手宣誓でプレー開始、熱戦が繰り広げられました。スポーツまつりも今回で4回目を迎えます。企画も盛り沢山で、ホールインワン賞をはじめ、寿賞、健康寿命日本一を目指す藤沢にふさわしい寿賞を設けました。参加男性の最高年齢は87歳、女性は85歳でした。そして、一発勝負、抽選会と最後まで盛り上がったグラウンドゴルフ競技でした。秋葉台自由広場ではグラウンドゴルフの体験コーナーもあり小学生や家族連れで体験を楽しむ賑やかな風景が見られました。グラウンドゴルフ

フはルールも簡単で子供から高齢者まで幅広く手軽にゲームを楽しむ事ができます。秩父宮記念体育館、秋葉台文化体育館では多くの来場者がニュースポーツ、パラスポーツ、健康増進課によるメディカルチェックと様々なイベントに参加していました。今回の企画、運営は私達実行委員、藤沢市スポーツ推進委員、各種目の体育協会、グラウンドゴルフ協会にご協力をいただきました。藤沢市スポーツ推進協議会は健康スポーツ、生涯スポーツに一生懸命取り組んでまいります。今回の「スポーツまつりふじさわ2017」は盛大に終了することができました。これも皆様のおかげと心から感謝申し上げます。(小野寺)

## 藤沢市空手道連盟 創立50周年祝賀会を開催

10月15日(日)18時から藤沢クリスタルホテルで盛大に開催されました。鈴木藤沢市長、大縫体育協会会長の祝辞のあと設立時から尽力された木村英勇名誉会長に特別功労賞が送られました。又現在、連盟を支えている役員に功労賞が授与されました。受賞者を代表して木村名誉会長が挨拶され、「50年の歩み」をふりかえるとともに今後の連盟の益々の発展を祈念されました。その後、乾杯、歓談、ご来賓のあいさつと滞りなく閉会することができました。(滝内)



空手道連盟の皆さん

### 編集後記

10月28日には2020東京まで100日前イベントが全国各地で開催されました。今後、東京オリンピックパラリンピック気運はさらに高まりを見せ、藤沢市のセーリング競技の成功にあたって、藤沢市協会の活動もさらに活発化してゆくことと思われまふ。藤沢市のスポーツレガシーの構築へ向け非力ながら貢献致したく思うこの頃です。またこの広報97号にはサッカー協会からは日大藤沢高校、鶴沼中学校の躍進が、サーフィン協会からは6年振りの全国優勝の報が寄せられました。引き続き藤沢市にご縁のあるチームや選手の活躍を期待し編集後記といたします。(山口・子田)